二夕日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四　編輯兼發行人　岡田弘成
福島縣石城郡平町紺屋町十四　印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五　發行所　磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日、休刊）

これ以上の緊縮は 到底實行不可能
早くも石城の一角に政府の方針を呪ふ聲
石城郡町村長會の空氣

石城郡町村長會は二日午町元平商業學校に開き過般知事より訓示を受けた町村實行豫算の緊縮方針について協議したが、劈頭小川村長國井義氏は

町村の豫算は各町村共同樣であらうが編成に當つては一月から二月までの長い間町村長が如何にすれば緊縮が出來るかについて頭を絞り出來るだけ切り詰めた豫算を作製し議會に提案して議員から各種の質疑に對しては止むを得ない支出であると說明し嘆願的に協賛を得たものであるから如何に知事の話であるとは言へ豫算を減ずるといふ事は出來ぬ、萬一豫算を一割内外減ずるとなれば、何故當初に於て減じておかなかつたかと議員から質問が出るであらう、即ち今になつての豫算減額は町村議會を侮辱したものであるから此の際知事に對し石城郡の各町村は豫算減額の余地がない旨を回答すべきである、

而して九月から明年三月までの豫算支出に際しては極力緊縮し出來るだけの繰越金を殘す可く努力する旨を附け加へておく事としたい、而して之に對し知事が飽迄減額せよと迫るならば吾人は第二段の方法として小學教員並に役場吏員の俸給を減額し慰勞金を廢止せねばならぬ。

と緊縮に反對の意を表し併せて緊縮問題の方針彈劾の演說を試みたが、之に對し大多數の贊成者あり引續き協議中である。（正午記）

四倉町の 現役召集者

四倉町本年度徵兵檢査で甲種合格となつた六十一名中抽籤の結果現役兵に召集されるもの左の如し。

▲歩兵仲町菅波兼男、松本佐一郎、猪方四郎、新町松本晴男、鈴木利男▲看護卒仲町長谷川常太郎▲砲兵新町池田卯八、本町東圓次郎、庄司操▲山砲兵新町鈴木春松▲鐵道兵新町鈴木隆美、仲町山野邊軍兵衛▲電信兵新町小松好三、佐藤實▲飛行兵新町仲町新妻政雄▲輜重輸卒仲町長谷川由松▲機關兵新町長谷川禮藏▲主計兵仲町字佐見美定次

在鄉軍人 武術大會

石城在鄉軍人分會主催武術大會は一日午前八時半から磐城中學校で擧行、四家分會長の挨拶、淺原、小松、庄司三審判者の注意あり競技に移つたが結果如左

▲劍道　一等高久村藥谷久太郎　二等渡邊村高木春衛、三等夏井村船尾作右衛門

▲銃劍　一等永戸村藥谷久光、二等好間村齋藤祐郎、三等夏井村水竹今朝一

改正時刻の修正を 鐵道大臣に陳情
郡山驛發終列車が早くなつたので 福島方面の所用に困る

列車運轉時刻は九月十五日から改正實行される事になつたが、之がため磐越東線の運轉時刻は郡山發平着最終列車は郡山發午後五時三十五分となりこの汽車に乘るためには福島驛を午後三時四十五分に出發せねばならぬ事になつた。陳情書の内容は郡山驛發午後八時、小野新町着列車を平驛まで運轉して貰ひ度いといふに在るが、萬一之が不可能の場合は右列車で小野新町まで來られるから小川鄉驛發午後十時十分平驛着午後十時三十四分列車を小野新町から發するやうにして貰ひ度いといふ意味である。

わけで福島縣廳、磐越西線方面の公私用の際は非常に不便となるため伏見平町長は石城地方民を代表して鐵道大臣に對し列車時刻の改正の陳情書を提出する

▲巡査採用試驗

福島縣巡査採用試驗は二日平警察署樓上で行つたが受驗者十七名であつた。

辭職した六十五名は 全部やめさせる事に決定
一ヶ年六百五十圓の費用が省ける
四倉消防組擾解決か

四倉消防組では既報の如く民政黨植田萬次郎氏一派に屬するものと見られてゐる組員六十五名が過般現組頭門馬倉次郎氏の排斥を企て連袂辭職したので紛擾を起してゐたが、四倉消防組は大正十四年迄一ヶ年間の維持費一千六百圓前後であつたが大正十四年自動車ポンプを購入して以來は一ヶ年二千圓以上の費用を要する有樣であるため同町有志間では緊縮の方法を講究したが適當な案が發見されなかつたため今日に及んでゐたが、折も折とて六十五名の組員が辭職書を提出したため、その六十五名に要する一ヶ年間費用一人十圓宛と見て六百五十圓を減ずれば余程節約が出來るといふ理由で幹部の意嚮は六十五名を全部馘首する方針で、四倉町有志の意見としても、現在の組員幹部三十七名、組員百八十名は四倉町として多すぎるから六十五名を減らし百二十名前後にした方が好いといふ者が多く結局辭職書を提出した謀反組はやめさせられる悲運に立ち至り、浮和雷同的に調子に乘つて渦中に入つた組員中には本當にやめさせられては困るとこぼしてゐる者も少くないと。

▲社民委員會

社會民衆黨石城支部執行委員會は一日夜平町南町支部に開き時局問題について協議した。

▲閼伽井嶽例祭

閼伽井嶽藥師の例祭は一日、二日兩日執行されるが、平赤井間は鐵道省で臨時列車を運轉すると。

子鍬倉の遷宮式に 平藝妓の奴行列
出演する美妓三十名

平町縣社子鍬倉神社の遷宮式並に臨時大祭は來る六日、七日兩日執行さるゝ筈であるが、七日神輿渡御の際平藝妓屋組合では粒撰りの美妓三十名を出し揃ひの裝束をつけて金棒奴行列を行ふ事になり目下新調の裝束を準備中であるが、かゝる催ほしは本年が最初の事とて各方面の人氣を呼んでゐる、一行に出る藝妓左の如し。

▲玉川小糸、政榮▲谷口秀勇駒勇▲甲子光子▲三好家よし子、あぐり▲久本いく子▲山形家小歌▲二葉家笑葉▲米京富彌▲橘家花香、若千代▲竹の家すみれ▲三島家春子、菊千代▲開花花榮、花丸▲吉野家千松▲湖月月子、貞奴▲仲家市太郎、福助▲福清清子▲林家友江▲品澤蝶々▲まさの家富子▲叶家小玉、鹿の子▲榮家榮

▲妻が駈落

東白河郡宮本村大字論田初治妻藥谷リウ（三〇）は同字の藥谷由之助（三四）と情を通じてゐたが八月二十三日午後七時頃駈落したまゝ行衛不明となつたので調査した處石城郡三阪村方面に潛伏してゐるらしいので二日平署に捜索方を願ひ出た。

記者聯合 將棋大會

在平記者並に在平各種團体事務所員聯合將棋大會は八月三十一日午後三時半から平町元石城郡役所に開催したが結果左の如く猛將と言はれてゐた杉本東日子が白組の副將に破れた爲め大將一名を殘して白組の勝利に歸した、戰況左の如し。（全部平手）

紅組　白組

◎淺野（東朝）○—×柴田（農會）
同　×—○大山（農）◎
菅野（殺檢）×—○同
内田（農會）×—○同
◎松本（養蠶）○—×同
同　○—×佐藤（殺檢）
同　×—○田村（民）○
四十萬（報）○—×同
○同　×—○海田（時報）
杉本（東日）×—○◎
不戰　佐藤（木炭）

人命救助で 四名表彰さる

石城郡草野村大字下神谷新妻忠次郎、大和田友光、鈴木喜三郎大浦村下仁井田根本要一の各氏は去る八月十八日午後一時頃夏井村大和田彌助が草野村字釜石海岸に於て水泳中溺死せんとするのを發見協力一致救助したので金一封を添え小柳知事から表彰された。

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・ブランク・白
マルソー・ルージ・赤　ℳ1.10
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

四倉海岸で 自殺か溺死か
少年の謎の行衛

田村郡七鄉村大字堀越字新田農業熊吉次男桑原五郎吉（十八）は四倉町新町旅館旭館に投宿してゐたが八月二十八日午後七時頃海岸に着物を脱いたまゝ行衛不明になつたので自殺か或は溺死したのではないかと目下捜索中である。

原町通信

▲社會改善講演 原町役場主催となりて社會改善講演會を八月三十一日午後三時より同町公會堂に於て開かれたるが講演者は日本生活改善協會幹事田中龜之助先生であつた。志賀町長の開會の挨拶あり引續き先生登壇して經濟國難に國民の自覺と云ふ題にて大要左の如く講演された。

經濟を經濟方面より整理すると云ふ事は順序であるだらうか、私は經濟を整理するには他の方面より考へねばならぬ、目下の國債は既に十五億夫れに三億萬圓の利子がある、この重荷を國民が如何にして返却するかは上は大臣より下吾々國民の大に頭痛する處である、之等を處するには先づ國民一致して禁酒をするより外に途がない、我國民一ヶ年の酒代は實に十五億萬圓、之れに用ゆる原料即ち穀米が四百六十六萬石余で實に莫大なものである、禁酒前の米國と禁酒後の米國の蓄産などの例を挙き約二時間に亘る大講演をなし五時散會したるが聽衆堂に充ち盛會裡に散會した。而も夜に入りて本町一丁目の野外に右大要の講演があつた。

▲原町酒なし日 九月一日は大震火災七週年記念として原町々民は一齊に酒なし日を決行したが八月卅一日の夜は原町禁酒會、石川組戊辰禁酒會、原町婦人矯風會主催にて家庭平和の爲め酒をやめよの酒なし日行進曲を高唱して提灯行列をなして大宣傳を行つた。

相馬農蠶の東北庭球大會 相馬農蠶學校にては來る二十二日(雨天順延)同校コートに於て東北庭球大會を開催する事に決定されたが參加者は同校に申込まるべし。

▲中村町流燈會 中村にては毎年新盆の家で大流燈會を宇多川に行るゝ事は年中行事の一つであるが本年も九月二日の夜執行されるが中々盛んである。

▲中村町花相撲 來る九月二日午前七時より相馬、双葉の青年相撲會を同町新町の廣場にて催されたが盛んであつた。

▲乘合自動車に科料 相馬郡鹿島町豊田乘合自動車運轉手小川粂藏(三二)は原町地内にて十二名の定員に二十名乘せて科料三圓に處せられた

チブス猖獗で臨時休校 相馬郡小高町にては既報の通り同町のチブスは今や猖獗を極めて居るが罹病者の過半は小學校生徒にあるので同校舍及び專修學校舍も大消毒を行ひ九月二日より開校すべき同校は二日より一週間臨時休校の止むなき事となつた。

▲厄日は無事 相馬地方にては例年二百十日の厄日には出穂の最中にあるが爲め農民の杞憂一方でなかつたが、南風稍々雨期を混して出穂には注文通りの天氣であつた爲め万作は疑ひなしと萬作祝を催したるが今秋現内閣が金解禁でもあつたらソレコソ百姓の兒作と農民の騒ぎ夥しい處もある。

時報文藝

(歌) 東京風景抄　仮村閑舟

(洗足池畔にて)

はしやぎつゝ與じてボート漕ぐ朝に水を縫ひつゝ走る愉しさ

あさみづやぬるむ池のへにボート漕ぐあまたの人の群りてあり

くる〳〵とボート廻るもおかしけれ池水はたん〳〵靜にたたふ

わが里の水を戀ふるも都なる此の池もまた捨てがたくしてよどみなく勵みて成せる偉人こそかしこしに思ひしのばる

(勝海舟の墓に詣で)

(歌) 銀座舗道

どこかしこ新しく追ふモダンなる銀座の夏のあらはすがたは

忘れつゝ疲れをいやすジャズに和し身もかろやかにはづみたりけり

はてやかに色どる窓に捉へたる人のゆらがる銀座の舗道

おもひより思ひにこらすモダンなる喫茶の店の明るき心地

シャンデリヤ耀くもとに寛ろげる異國の人の睦しげなる

貸家廣告
平町新川町三三番地
二階建、商店向き
平町新川町十八番地
平家、商店向き
右何れも水道つき
委細は御來談下さい
平新川町 電一三三 中野勇吉

鳥季節御料理 柳川 舞子丼
仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り
鰻 蒲燒 魚榮 電話四二四番

祝原町支局開設
縣立相馬農蠶學校長 佐藤弘毅
眞野小學校長 太田宗慈
福田小學校長 齋藤鉄三郎
新地小學校長 小林德次郎
高平小學校長 羽根田清躬
金房小學校長 佐藤信義
鹿島町長 星寅五郎
福田村長 高橋一馬
新地郵便局長 小泉守治
新地村々會議員 黒澤秀造
太田村々會議員 鈴木傳之助
東京信用銀行鹿島支店

祝原町支局開設
高平村々會議員
(順序不同)
村上永助
堀川深載
岡和田清
星源太郎
鈴木寅五郎
鈴木清助
小野田留藏

小店員募集
十五六歳の者 二名
給料、待遇の点例外の特点を與にます
平町紺屋町十三(加納活版所西隣リ)
豆類 砂糖 雑貨 たまき屋商店
田巻隆一

かるく涼しき 丈夫な白靴
弊店自製品 BA 七圓 六圓
ラケット 特賣
最新細形 金三圓より
水泳着と……運動服裝
豊富に廉價
各學校會社御用 大塚支店 製靴部 運動具部
平町田町 電話七〇二番

ビクター新譜着
モダン東京 誠に良い
丸の内メロディー
浪花小唄 ジャヅリング
蓄音器の修繕は安く良く早く
平 電話一九三番 大谷時計病院

外科 專門
平町南町
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番